

宇城市では、平成18年4月から「国際理解教育特区」事業として、また平成21年度からは「教育課程特例校」として「小学校英会話科」（うきうきイングリッシュ）を実施してきました。令和2年度に、5、6年生が外国語科、3、4年生が外国語活動に移行する中、本市では、「教育課程特例校」として、1、2年生の「英語活動」を導入し、21世紀の国際社会に貢献し、持続可能な社会の担い手となる児童の育成に取り組んでいます。新たに、令和6年度から令和9年度まで4年間本指定を継続し取り組むこととなりました。

また、「豊かな人間性」「かかわり・つながりを尊重する態度」を育むために、国際交流事業として中学生の「海外視察研修」を継続実施しています。

宇城市12小学校では、授業交流を通しながら小・小連携、小・中連携に視点を置き、小学校学級担任はもとより、ALT（外国語指導助手）との授業実践の向上に努めているところです。それらの取り組みの様子について、学校便りや学級通信等により発信するとともに、児童の英語学習に対する意識調査の結果等を各学校の「ホームページ」に掲載しています。

グローバル化時代を生き抜く人材育成のため、学校教育での重要な基盤づくりとしての「教育特例校」の教育実践を市民の皆様に積極的に発信していきますので、今後ともご理解・ご支援の程よろしく願いいたします。

令和6年5月

宇城市教育委員会

教育長 平岡 和徳